

埼玉県議会議員

日本維新の会

中村みか



1986年生まれ。埼玉県育ち。
越谷北高校卒業、法政大学経営学部卒業
2023年4月 統一地方選挙を経て、埼玉県議会議員（草加市選挙区）へ

- ・県土都市整備委員会 所属
- ・公社事業特別委員会 所属
- ・東埼玉道路促進議員連盟、防犯のまちづくり議員連盟
社会福祉推進議員連盟、拉致問題早期解決議員連盟
など多数の議員連盟に所属

《大野知事に要望書を提出》

大野知事に、令和6年度予算に向け、埼玉県議会 会派 日本維新の会代表として予算・施策要望書を作成し提出いたしました。政策・部局ごとの施策76項目、草加市はじめ地域要望35項目、計111項目です。



大野元裕知事(写真右)に提出時
ペーパーレス化の取組で要望書はタブレットにて

- ・ベビーシッター助成制度創設
- ・不妊検査・不育症検査費用の助成事業推進
- ・県立高校のPTAによるエアコン負担の見直し
- ・教育費、給食費無償化
- ・児童虐待早期発見のための対策、医師会との連携強化
- ・草加児童相談所の環境整備と一時保護所の設置

子育てしやすい街へ

- ・高齢者や障害者施設支援や介護人材の処遇改善
- ・重度障害者グループホームの整備と経済的支援
- ・埼玉独自の難病就労サポーター制度設置
- ・空き家等対策促進、不良住宅の除却や積極的活用

高齢者、障害者支援
地域の安心

- ・働く女性のワンストップ支援拠点事業の拡充
- ・男性育休推進員の増員
- ・セカンドキャリアセンターによる
シニアの就業支援推進

働きやすい社会へ

他

全111項目
こちらのQRコードで
全項目閲覧できます→



《治水対策と都市開発の兼ね合い》

2023年6月の台風2号により草加市でも浸水被害を受けました。今後の被害軽減のため国・県・市が連携し中川・綾瀬川流域治水プロジェクトを発足。さらに法的枠組みを活用する中川・綾瀬川流域の特定都市河川の指定が検討されています。これにより、今回の主な要因だった内水氾濫に対応する、排水ポンプ整備や雨水貯留浸透施設整備への予算の重点補助(国庫補助)が組める等、治水対策の一層の強化が期待できます。

一方、私が懸念点として委員会で確認をしたのは、住宅や駐車場建設など、雨水浸透阻害行為の許可の必要性が生じることでの三郷流山橋 都市計画道路の東埼玉道路への延伸の開発への影響です。その旨、委員会にて質問をいたしました。県側からは、これまでより影響が出ることはないという答弁でしたが、引き続き、治水対策と都市開発の両面を注視してきます。